

令和6年度 八王子市公立小学校長会の基本方針

◎校長会の目的

- | | |
|-----------|--------------------------|
| 目的 | 1 本市の学校教育の振興に資するために研鑽に励む |
| | 2 各学校経営の向上を図る |
| | 3 会員相互の連携、互助、親睦を深める |

◎国・都・市の方針を踏まえた校長会の基本方針

八王子市立小学校長会では、八王子市の教育基本方針のもと、「オール八王子」を合言葉に総力を結集し、様々な教育課題解決に努めてきた。

現在、学校現場では、教職員の人員不足、いじめや不登校問題、情報モラルの欠如や生活習慣の乱れ、規範意識の低下などのこれまでの課題に加え、令和の日本型学校教育の構築を目指した学習指導要領の着実な実施やGIGAスクール構想に基づくICT機器を有効に活用した教育活動の在り方、働き方改革の一層の推進、感染症をはじめとした多様な危機への対応、免許更新制度廃止に伴う新たな研修制度などの課題も抱え、私たち校長が連携して解決へ向かわなければならない状況となっている。

そこで、より一層団結力を高め、今までの諸先輩方が築き上げてこられた校長会のよき伝統と、時代の流れに沿う経営マネジメントを融合させ、変化の中で新たな価値を創り出すことができるように有益な情報交換や情報発信を行っていく。

また、令和6年度関東甲信越地区小学校校長会研究協議会東京大会の発表地区として、調査・研究活動に努め、準備を組織的に行っていくこととする。

◎基本方針を受けた具体的取組

学校組織の長（校長）として

- 市の教育施策の確実な実施
- 自校に責任をもち信頼される学校経営を行う
 - ・教職員の資質能力の向上と人材育成
 - ・予算、人材の有効活用
 - ・地域、保護者、児童の願いや学校の特色を活かした教育活動の推進

校長会組織の一員として

- 各部、委員会、委嘱委員の仕事からの情報発信と共有
- 各ブロック内での情報共有と協力
- 教育施策調整会、施策連絡協議会での情報共有と協議
- 他の組織との円滑な連携
(教育委員会、中学校長会、保・幼、小P連等)
- 関ブロ東京大会に向けた調査・研究活動の充実

令和6年度のポイント『人と人とのつながりを大切にする校長会』

○子供を、保護者を、地域を、教職員を大切に、会員相互のきずなを大切にする校長会（ひとりとはみんなのために みんなはひとりのために）

○スケールメリットを活かした情報共有（中核都市八王子の良さと強みを活かす）

【教育課程編成の重点項目】

①義務教育9年間を見通した「小中一貫教育」のさらなる充実

➤「一体」となって取り組む「合同の活動」、部活動改革、学校外での地域活動

②誰一人取り残さず見守り、育成するための子ども一人ひとりに応じた指導

➤不登校対策:「つながるプラン」の推進 ➤いじめ防止対策:子ども見守りシートの活用、いじめ対策委員会
➤「生命の安全教育」の指導の徹底 ➤第五次推進計画に基づいた特別支援教育

③学習内容のさらなる充実と確実な定着に向けた指導

➤義務教育修了段階における学力の保障、「八王子っ子ミニマム」の確実な定着
➤教員の指導力の向上「八王子市教員育成基本方針」に基づいた研修計画の立案

④サービス事故防止の取組の強化 ➤「使命を全うする」(令和6年4月改定版)を活用した研修の充実